

子供達に寄り添いながらのPTA活動を！

(5年間のPTA活動で学んだ事!!)

PTA会長

木村 千恵



令和5年度PTA会長を務めさせて頂くことになりました木村です。日頃より皆様方にはPTA活動へのご理解、ご協力を頂き心より感謝しています。

令和3年度に続き今回が2度目のPTA会長となります。前はPTAの事もPTA活動に関してもまったく分からず、手探りで行うことも多く、校長先生を始め、先生方にも大変ご迷惑をおかけしました。3月には卒業生を見送り、4月から新しく新入生を迎え本年度も元気いっぱいの子供達とPTA活動を通して近い位置でのサポートをしていけたら思っています。

約3年の猛威を振るってきたコロナ禍の下、PTA活動も思うように出来ませんでした。このような中でも子供達は日々通学し、学校生活を送ってきました。PTAにとって何よりも大切な事は、子供達の「安心・安全」と「笑顔」のための環境作りです。

これまで見えなかったものがこのPTAを通して見えてきて、日々の子供達の生活を支えてくれているのは、学校の先生方なんだと感じています。本年度はコロナ禍の影響も少しは和らぎ学校でのイベントも行える事と思っています。もちろん家庭でのサポートや寄り添い…高校生ともなると家庭での会話も少なくなる年頃です。会話のキャッチボールもなかなか続かないですよネ(笑)それでも子供はしっかり親の存在を感じています。子供が不安や悩みを持つように親も1人の人間です。日々の生活の中で悩んだりするのも当たり前…ただ1つ言えるのは親が笑顔でいないと子供も笑顔で頑張れない！朝、「いってらっしゃーい！」と大きく元気な声で送り出すだけで、子供は元気にもなれるし今日も頑張ろうって思えるのです。これからも子供に寄り添い、いつも側に居てあげて下さい。

この1年間で何が出来るか分かりませんが、PTA会長として今後も先生方、保護者の皆さまと子供達を見守り、そして子供達と共に成長していきたいと思っています。

これからもご理解、ご協力の程よろしく願います。

## 「育成したい能力」

校長

大島 隆二



これからの不確実性の高い時代を生き抜くために、すべての人に身に付けさせたい力がアントレプレナーシップ(起業家精神)です。アントレプレナーシップとは、自分のアイデアや情熱をもとに、新しい価値を創造し、社会に貢献していく力のことです。その力の生かす先は、起業だけでなく企業の中で新たな取組をする場合や革新的な技術の開発、地域の課題解決などにも発揮されると考えられています。

つまり、アントレプレナーシップの本質は、「起業するのに求められる力」というより、「既存の常識にしばられず革新的なアイデアや価値を生み出す力」のことです。役割や職種に関係なく誰もがもっておくべきものなのです。

しかし、実社会において今起こっている課題を解決するためには、教室の中だけで考えていても答えは出せません。地域社会にその一歩を踏み出し、実際に困っている人の話を聞いたり、自分自身で体験したりする機会の中でのみ答えが見つかると思います。

2022年度より導入された高校の新学習指導要領では、「自ら問題を設定して解決にチャレンジする」ところに重きが置かれています。自ら問いを設定すること、そしてその問いに果敢に挑戦し、解決していく力が求められているのです。その学びの姿は、正にアントレプレナーシップの本質と重なり、すべての生徒が学校教育の中で身に付けるべき力として育成を目指す資質・能力の三つの柱につながっています。具体的には、「知識・技能」(何を理解しているか何ができるか)、「思考力・判断力・表現力等」(理解していること・できることをどう使うか)、「学びに向かう力・人間性等」(どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)の3つです。生徒の皆さん、アントレプレナーシップを身に付け、これからの3つの資質・能力を伸ばしながら自分の将来の夢を実現しようではありませんか。

本校では全職員が一丸となって、卒業後のお子様様が社会に出てから活躍することが出来る実践的な力を育成してまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。